

誰でもできる
ローテク防災術

防災十二術

四国の言い伝え等から過去の災害教訓を分析し、被害を減らすための術として現代に応用できる教訓を「防災十二術」としてまとめました。

防災十二術

- 一術、地域の災害特性を学ぶ術
【メカニズムの理解】
【備え】
- 二術、災害の備えを忘れぬ術
【歴史に学ぶ】
- 三術、経験則を生かす術
【不測の防災社会基盤整備と保全】
- 四術、過去の積み上げで安全基盤を確保する術
【先人の知恵の継承】
- 五術、被害を減らすための知恵・工夫を生かす術
【フェールセーフシステムの構築】
- 六術、二重の安全策を講じる術
【ダメージポテンシャルを挙げない】
- 七術、被害拡大要因を小さくする術
【逃げる】
- 八術、災害時に逃げる術
【情報】
- 九術、災害時に情報を生かす術
【自助、共助体制の確保】
- 十術、災害時にみんなで助け合う術
【ネバー・ギブ・アップ】
- 十一術、諦めない術
【災害を摂理として受容する心】
- 十二術、自然への感謝と畏敬の念を大切にす術



誰でもできる
「ローテク防災術」
を学ぼう

ローテク防災術 🔍

お問合せ先

四国防災共同教育センター

【事務局】
香川大学 創造工学部
演習研究棟 3階

【住所】
〒761-0396
香川県高松市林町
2217番地20

【ホームページ】
<https://www.kagawa-u.ac.jp/dpec/>

【TEL】
087-864-2539

【FAX】
087-864-2554

【メール】
bousai4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

「ローテク防災術」とは、電気などがなくても、災害時に誰でも簡単に行える防災術です。

今も昔も防護水準を超える災害は発生します。その際には、家庭・地域が主体的に災害に向き合う防災術が必要になります。自然災害から身を守るため、誰でもできる「ローテク防災術」を身につけましょう。



香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構



誰でもできる
ローテク防災術

簡易雨量計
「アメミルペット」

避難の目安となる、自宅に降る雨の量を測ってみましょう。
ペットボトルで簡易雨量計「アメミルペット」を作ってみませんか。

①空のペットボトルを用意します。サイズは何でもOK。

②ペットボトルの上部をカッターナイフで切り、フタ（浮きの代わりです）の中に入れます。

③切り離したペットボトル上部を逆さに差し込み、接合部をビニールテープで巻いて固定します。

④ペットボトルの側面に雨量計の目盛りを貼ります。

スタート **ゴール**

誰でもできる
ローテク防災術

新聞紙スリッパ

室内や避難所などで履物がない時、新聞紙スリッパの作り方を
知っていると大変役に立ちます。折り方を覚えてみましょう。

スタート

新聞の手前側を4分の1の長さで折る

新聞を裏返し、横の長さ3分の1のところを内側に折る

折った部分を奥側に向けて折る

左右の角を内側に向けて折る

反対側も内側に折り、先に折った側の折り目に差し込む

ゴール

誰でもできる
ローテク防災術

さぐり棒

浸水時の避難は濁った水の中を進むため、足元が見えません。水底に何が落ちているか分からないうえ、側溝・マンホール穴などが見えないので、さぐり棒で水中を探りながら進むようにしましょう。



自分の顎の下くらいまでの長さで、軽く、持ちやすい物が最適です。



誰でもできる
ローテク防災術

台風的位置を知る方法

四国では台風が南西の方角からやってくることが知られており、風の向きから台風的位置を知る方法が伝わっています。

【実践方法】

1. 背中に風を受けて立ちます
2. 自分から見て左前方45度方向の延長線上に台風がいます

